



特集

情報ピックアップ

タウントップ

HOTトピック

市政リーダー

インフォメーション

おでかけ・相談

はぐくみ

街かどリポート

まちの話題

県内の和太鼓チームが一堂に集結(9月29日)



県内の和太鼓チームが一堂に集結したイベント「和太鼓フェスティバルin丹波篠山」が田園交響ホールで開催されました。市内の和太鼓チーム「丹波篠山太鼓鼓篠組」「篠山鼓夢衆うりずん」を含む10団体が出演。特別ゲストとして、石川県輪島市から「輪島・和太鼓虎之助」も出演し、勇壮な演奏を繰り広げました。

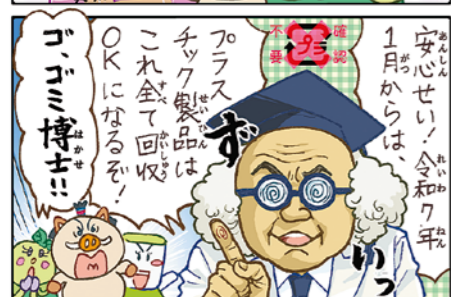
水曜どうでしょうキャラバン(9月24日)



丹波篠山市に水曜どうでしょうキャラバン2024がやって来ました。ステージイベントのほか、限定グッズの販売や、丹波焼で半角齋コンテスト、絵付け体験、王地山焼onちゃんペーパーウェイトづくり体験、デカンショ踊り体験など、丹波篠山ならではのイベントがあり、会場は大いに盛り上がりました。

きんぎょまふいぬ 105

「プラごみ回収、どう変わる〜?」



★詳しくは、2・3ページをご覧ください。

黒枝豆の販売解禁セレモニー(10月7日)



秋の特産「丹波篠山黒枝豆」の旬の到来を告げる、丹波篠山黒枝豆販売解禁セレモニーが行われました。今年は高温・少雨の影響により、例年より遅い解禁日となりましたが、順調に生育しています。セレモニーが行われたのは篠山産業高等学校管理の農地。生徒たちが育てた黒枝豆は、文化祭などで販売される予定です。

防火ポスターコンクールの受賞作品が決定しました



164作品の力作から次のとおり受賞作品が決定しました。
市長賞=今井柚希さん(篠山東中3年) 消防長賞=木村律貴さん(西紀小5年) 防火安全協会賞=岩瀬木葉さん(大山小2年)
その他=優秀賞7人、入賞10人 ★受賞作品は11月9日(土)から16日(土)まで、中央図書館で展示します。



いぬいぶくし村の利用者も参加



毛布担架



PHEV車からの給電



車いすの操作

誰ひとり取り残さない避難訓練(10月6日)

乾新町自治会で実施された、市が進める防災と福祉の連携事業「誰ひとり取り残さない避難訓練」に約90人が参加しました。この訓練は、1人での避難が難しい方の避難方法を事前に考えて実際に避難を行い、いざというときに備えるものです。自治会長の小山辰彦さんは、「支援が必要な方に民生委員が事前に声掛けをしてくれて多くの人が参加できた。今後も続けたい」と話しました。また、声を掛け合って避難訓練をした後、毛布担架の作り方や車いすの操作を学びました。

まちなみアートフェスティバル(9月14・15・16・19・20・21・22・23日)



2年に1回開催されるまちなみアートフェスティバル。多くのアーティストたちが丹波篠山へ集い、河原町妻入商家群をさまざまな作品が彩りました。訪れた人々は、町屋とアート作品が融合した美しい芸術や、アーティストたちとの交流を楽しみました。

長寿祝福訪問(9月11日)



市長、社会福祉協議会山崎義博副会長、市老人クラブ連合会西田直勝副会長が、小前眞砂美さん(101)を訪問し、記念品などを手渡しました。小前さんは庭の野菜の成長や収穫を楽しみにされ、煮物なども作られます。ご家族にも温かく祝福されていました。

幽玄な舞を堪能(9月22日)



篠山春日神社能舞台の保存修理工事完成を記念して実施された篠山春日能。当日は小雨が降る中、遠方から足を運んだ人もあり、観客は約300人に上りました。会場は演者の掛け声や、鼓などの楽器の音色に包まれ、観客らは幽玄な世界を堪能しました。

農都のめぐみ米の稲刈り体験(9月12日)



城東小学校5年生15人が、7月に生き物調査を行った西荘集落の農都のめぐみ米栽培ほ場で稲刈りをしました。農都のめぐみ米は給食にも使われています。児童たちは、農家から鎌の使い方を教わった後、熱心に稲を刈り取り、収穫の楽しさを体験しました。